

国境なき医師団に参加して ～世界の片隅から思うこと～

令和5年度足利市国際交流協会定期総会を記念し
国際理解講演会を開催いたします。

足利市出身の小児科医 浦部優子さん、国境なき医師団での活動や
活動を通して感じたことなどをお話くださいます。



© Yuko Urabe/MSF

日時： 令和5年5月20日（土）
午後3時～午後4時15分
場所： 生涯学習センター 302号室
講師： 浦部 優子さん
定員： 60名（先着順）
申込・問合せ： 足利市国際交流協会
☎ 0284-43-2412

Eメール info@ashikaga-inter.jp

申込期間： 5月19日（金）まで

入場無料 / どなたでもご参加いただけます。

※講演会終了後、会員を対象として
講師を囲んでの交流会を行います。
（午後4時30分～5時）

講師： 浦部 優子さん

国境なき医師団（MSF）日本 小児科医

栃木県足利市在住。群馬大学医学部卒。

湘南藤沢徳洲会病院でER・NICUを含め小児科全般を担当。2016年よりTMAT（特定非営利活動法人）に参加し
発災時に各地で活動。へき地・離島支援として、奄美群
島や東北各地の病院で小児科診療。

2020年に長崎大学でDiploma of Tropical Medicine
and Global Hygiene取得。2021年よりMSFに参加。
初派遣はイエメン。2022年10月よりアフガニスタンに
て活動中。

【MSF活動歴】

2021年10月～2022年6月 イエメン

2022年10月～2023年5月 アフガニスタン

国境なき医師団（Médecins Sans Frontières=MSF）

国境なき医師団は、民間で非営利の医療・人道援助団体です。紛争や自然災害、貧困などにより危機に
直面する人びとに、独立・中立・公平な立場で緊急医療援助を届けています。

医療援助と同時に、現地で目の当たりにした人道危機を社会に訴える「証言活動」も国境なき医師団
の使命です。

1971年にフランスで設立し、1999年には活動の実績が認められノーベル平和賞を受賞しました。



（申込フォーム）



主催：足利市国際交流協会